



## TTA-2015

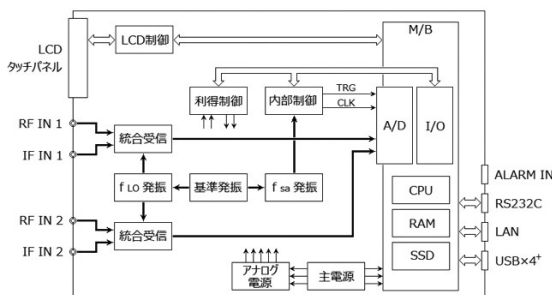
UHF を主とした地上デジタル放送波の記録・解析を行う装置です。本装置には2系統の受信回路が搭載されており、それらを同時に動作できるため、2ch 同時測定、ダイバシティ受信、中継システムの入出力同時監視など、さまざまな測定現場に応用が可能です。UHF 波のほか、中継システム等で使用される 37.15MHz IF 信号を記録・解析することもできます。

本装置の動作は、高速 A/D による RF キャプチャリングを基本としています。数値化した受信波形を解析する機能の中核部分には、日本放送協会により開発・供給された ISDB-T 信号解析ソフトウェアが使用されており、受信波のスペクトラム、コンスタレーション、遅延プロファイル、MER などの解析結果を記録・表示できます。

本装置は Microsoft Windows(R) オペレーティングシステムやタッチパネル付き LCD、大容量 SSDなどを搭載しており、高い操作性と大きな記録容量を装置単体で提供します。



### ブロックダイアグラム



### 主な用途

- 受信点における受信波の長時間記録と解析
- 外部アラーム信号による受信波記録
- 同一 ch 波の干渉および回り込みの解析と記録
- その他、独自アルゴリズムの記録・解析機能を追加可能 (有償)

### 測定機能一覧

測定種目名	概要
基本計測	受信波を簡易に表示する FFT アナライザ機能 受信機としての基本的な動作確認にも使用
間欠波形記録	指定秒数間隔で受信波形をキャプチャして記録
同一 ch 干渉記録	ISDB-T を前提とした受信波の解析と記録
回り込み干渉記録	ISDB-T 波の回り込み干渉解析と記録
アラーム監視記録	ALARM 電気信号や受信レベル低下など各種条件のイベントを監視し、発生前後の波形を記録

### 仕様

項目	型名	TTA-2015
周波数		470MHz ~ 710 MHz (J13-52ch)
UHF 入力端子		N-J 型 x2 系統 (50 Ω)
IF 入力端子		BNC-J 型 x2 系統 (50 Ω)
入力信号形式		ISDB-T
オペレーティングシステム		Microsoft Windows 7(R) Professional
内蔵記憶装置		SSD 480GB 以上 (公称値)
取り扱いファイル		SAINT 形式 (*.snt) との互換性あり
電源		AC100V±10%、50 / 60Hz、100VA 以下
寸法・重量		330(W)×350(D)×180(H)mm 以下 (突起物除く)、13kg 以下

#### ■セット内容

本体、AC ケーブル、GPS 受信機、マウス、再セットアップ CD、キャリングケース、取扱説明書、試験成績書など